

My life in Kuji



ダコタ・ディベイツ さん

インディアナ州・24歳 / 夏井小、久喜小、小袖小、宇部中、山形地区の小中学校を担当

サンクスギビングでのディベイツ家の伝統

ディベイツ家では、サンクスギビング※に行う2つの伝統があります。ひとつは、私が小さいころから楽しみにしている、甘くてたくさんのシナモンパウダーがかかった「シナモン・ヌードル」。麵の形をしたシナモンロールを想像してください。まず、クルスキ（卵の入った団子状の pasta）を茹で、柔らかくなったら、バター、黒砂糖、シナモンで味付けします。黒砂糖が多ければ甘くなりますし、私は個人的にシナモン多めがお気に入りです。二つ目は、翌日からクリスマスに向けて準備を始めることです。毎年、次の日にはツリーを飾ります。我が家のツリーは、とてもカラフルです。レインボーカラーのライトをつけて、手作りの面白いオーナメントで飾ります。最後に、天使の格好をしたロッドワイラーという犬の飾りをてっぺんに飾れば完成。私は今年も小さなツリーを飾ります。皆さんも、それぞれの伝統行事ができるといいですね。

※アメリカの11月の第4週の木曜日の祝祭日のことで、日本では感謝祭と呼ばれています

市民

センターだより

小久慈市民センター ☎59-3051



小久慈市民センター事業紹介 ~地域の企業を学ぶ~

小久慈市民センターでは、子どもたちが地域の企業を知り地域を大好きになってもらおうと、こくじっ子企業見学会を開催。小久慈小児童が、佐幸本店・小久慈焼・滝ダムについての仕事を学びました。佐幸本店では、案内をしてくれた佐々木代表取締役のクイズを交えた説明に、子どもたちは興味津々目を輝かせていました。エアシャワーを浴びて全身きれいにしたあとは、山ブドウの瓶詰めも見学。甘酸っぱい香りに子どもたちは「良い香り」とにっこり。熱で殺菌された瓶に、熱い山ブドウ果汁が注がれる工程を、五感で感じながら学びました。見学後のアンケートでは「小久慈の自慢したいもの・有名なもの」として、江戸時代からある小久慈焼や佐幸本店などがあげられました。地域の企業や地域が、子どもたちのために学びを支えています。小久慈市民センターでは、今後も継続して地域とともに将来を担う子どもたちの、ふるさと愛を醸成するよう、取り組んでいきます。

すごいぞ、僕らの恐竜

恐竜・地質課題コンテスト表彰式 11月4日

久慈市夏休み恐竜・地質課題コンテスト2021を開催し、絵画63点の応募がありました。この日、久慈小学校で表彰式を実施し、市長が児童2人に表彰状を贈呈。金賞を受賞した永瀬泰聖さんは「牙を描くのが難しかったです。恐竜の模様を頑張りました」と笑顔を見せました。

- 受賞者は次の通りです。
▶1年生 金賞 永瀬 泰聖 (久慈小)
銀賞 七ツ役 圭 (久慈小)
銅賞 中屋敷 新 (小久慈小)
▶2年生 金賞 谷崎 康生 (小久慈小)
銀賞 水上 太翔 (小久慈小)
銅賞 内田 汐咲 (小久慈小)



1/表彰式で絵を掲げる永瀬泰聖さん(左)と七ツ役圭さん(右)
2/1年生 金賞「きょうりゅうが いっぱい!すごいぞ くじし」
3/2年生 金賞「きょうりゅう いっぱいのせかい」

新たな「自主防」結成

大川目町田中地区 自主防災組織 10月25日



認定書と防災マップを掲げる田中地区の皆さん

大川目町田中地区が、市内27団体目、今年2例目となる自主防災組織に認定されました。結成に当たり、高齢者世帯の把握や同地区の避難場所などを記載した防災マップを作成し、各世帯へ配布。落ち着いた避難行動ができるよういざという時に備えています。

基石こはく村の資料を展示

まちなか拠点「琥珀の窓」開設 11月7日



テープカットを行う参列者

琥珀文化保存伝承の活動を行う「くんのこほっば愛好会」は、まちなか拠点「琥珀の窓」を久慈ステーションホテルに開設。入場料無料で、採掘が盛んに行われていた当時の様子や採掘道具などの資料が、解説付きで紹介されています。▶久慈ステーションホテル ☎53-5281

集まれ! 元気の輪

ぽっぽの会

代表: 小屋畑 幸美 さん
活動場所: 長内市民センター ☎53-2581
活動日: 第2火曜日、第4火曜日 9時30分~12時

迷ったときは先生に相談。いつも明るく笑顔で答えてくれます



いつも笑顔の参加者たち

ぽっぽの会は、活動2年目のサークルで、昔は着物のことを「ぽっぽ」と呼んでいたことから命名しました。環境アドバイザーでもある小赤澤直子さんを講師に迎え、着物をリメイクし洋服を作成する活動をしています。型紙はなく、先生にイメージを伝えるとフリーハンドでカッティング。10月末にアイーナで開催された、着物リメイクファッションショーでは、自分で作った作品を着て参加しました。日常と非日常を経験できるサークルで、おしゃべりをしながら、和気あいあいとした雰囲気。地域の良い交流の場になっています。

卓球バレーで交流を

第3回あまちゃんカップ 10月31日



ラリーが続くと歓声や拍手が起り会場は大いに盛り上がります

年齢や障がいを超えて楽しめる「卓球バレー」。卓球台とラケットを用い、6人制バレーを模したユニバーサルスポーツです。この日、市民体育館で第3回あまちゃんカップが開催され、2つのクラスに計9チームがエントリー。参加者らは試合を通じて交流を深めました。

新たな浸水を想定して実施

津波避難訓練 11月14日



津波災害に備え、避難場所に向かいます

内閣府が公表した日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震津波により、広範囲が浸水することを想定した初の津波避難訓練が開催されました。訓練には、市民1,565人が参加。いざという時の災害に備え、各地区の避難場所を目指し訓練しました。